

平成 21 年度 京都大学図書館機構 第 2 回講演会
「次世代 OPAC を考える 一目録情報の視点から」
実施要項

昨今、日本の図書館界において“次世代 OPAC”と呼ばれる Web サービス及びそのシステムに注目や期待が集まっています。

“次世代 OPAC “という、そのシステムの機能やインターフェースに注目が集まりがちですが、“次世代 OPAC “をとらえる上では、OPAC の利便性ととも、資料検索ツールとしての有用性を高める根本的な要素である「目録情報」の構造や内容、さらには情報検索そのものへの考え方や情報検索技術など、これまでの「OPAC」の枠にとられない発想や視点にも注目する必要があるでしょう。

そこで当講演会では、「目録情報」の視点から“次世代 OPAC”をとらえることを主題とし、“次世代 OPAC”について「目録」「情報検索」「OPAC 設計者」それぞれの専門家をお招きして知見を得るとともに、各専門分野における情報検索に対する考え方や今後の課題について、講演者間の議論及び参加者からの質疑応答を通じて共有したいと考えています。

主催：京都大学図書館機構

共催：国立大学図書館協会近畿地区協会

協賛：大学図書館近畿イニシアティブ

1. 日 時：2009 年 11 月 27 日（金） 13:30～16:50
2. 場 所：京都大学人間・環境学研究科棟 地下大講義室（別紙案内図参照）
3. プログラム
13：30～13：35 藤井譲治 京都大学図書館機構長 開会挨拶
13：35～14：35 基調講演：
渡邊 隆弘（帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科准教授）
「次世代 OPAC とこれからの目録情報」
14：35～14：45 休憩
14：45～15：25 講演 1：
清田 陽司（東京大学 情報基盤センター助教）
「知識体系の新たな融合：情報探索と件名標目表の活用をめぐって」
15：25～15：35 休憩
15：35～16：20 講演 2：
田辺 浩介（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所非常勤
講師 / Project Next-L）
「次世代 OPAC 実装への取り組み:Project Next-L Enju を素材として」
16：20～16：50 パネルディスカッション・質疑応答
16：50 終了

* なお講演会終了後、講師の方々をお招きして交流会を開催いたします（参加任意）。

17：30～19：00 場所：ルヴェ・ソン・ヴェール
(京都市左京区百万遍交差点下ルー筋目西入ル)

4. 受講定員：160名（申込先着順）
5. 受講料：無料（但し、講演会後の交流会に参加される場合は、4,000円の参加費を頂きます）
6. 申込方法：申込用 Web フォームから必要事項をご記入の上、お申込下さい。
<http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/archive/091127kouenkai/>
申込締切：2009年11月13日（金）
7. 企画：京都大学図書館機構
8. 問い合わせ先：京都大学附属図書館総務課
図書館専門員（企画・広報担当） 中村 節子
Tel：075-753-2691 Fax：075-753-2629
E-mail：kenshu-uke2@kulib.kyoto-u.ac.jp

【会場案内地図】 会場へのアクセス詳細 URL : <http://www.h.kyoto-u.ac.jp/access/>

